

—地区大会に於けるガバナ—告示速報—

生きる喜びを発見しよう

地区大会を顧みて

年次大会委員長 池田和夫

(東京江北ロータリークラブ)

皆様の御協力により、空前の盛況をもって無事に大会が終り、いささかほっとして居ります。さて皆様すでにお気付きの様に、今度の大会はガバナー主催という地区大会本来の姿を明瞭に打ち出し、プログラムも今までになかった新しい試みを沢山組み入れました。即ち新会員夫妻を招いての朝食会、財界四巨頭による「企業の社会的使命」に対する考察、職業別協議会、分区代理による各分区フォーラムの報告、会報コンテスト、スライドによる物故会員追悼等々がそれでありますが、これ等の企画が何れも大好評を拍しましたことは何にも代え難い喜びにて、これで私共ホスト・クラブの労苦も酬いられたというものです。

ところで、今度の大会ではもう一つ思いがけないことが起こりました。それは佐藤ガバナーの告示を印刷にして欲しい、原稿のコピーをすぐ貰えないだろうか、という問合せや要望が大会事務局に殺到したことであります。これにはいささか面くらいましたが、それだけ皆様に深い

感銘を与えたものと、一面喜びに耐えない次第です。勿論、告示も含めてすべて大会の行事は、後日一冊の記録書にまとめて皆様のお手もとにお届け致しますが、それでは折角の感激も印象が薄れると存じ、取り敢えずガバナー告示のみ簡略な印刷に附して各クラブ宛数部ずつお贈り申し上げます。

この告示には、地区大会の意義に関する分析、現代若者の意識に関する考察、病める時代への警告とロータリアンに対する激励、という三つの山があります。原稿のコピーを要望せられた方々が、その何れの部分に興味を示されたのか、それは人さまざまでありましょう。然し、これを通読されることによって、佐藤ガバナーが打ち出された「生きる喜びを発見しよう！」という本大会テーマの、由て来る所もお分かり頂けると存じます。御精読賜わり、そして後半の年度を捻り多きものにして頂けましたら仕合わせです。